

創造の秩序

2012/1/8

旧約聖書入門

創世記1:1～2:3

- ・ 万物は神によって創造された
 - 時・空間・物理的法則・物質・生物
- ・ 神は6日かけて順序正しく創造された
 - 1日目：光と闇, 2日目：空と2つの水, 3日目：地と海・植物 4日目：太陽と月 5日目：水中と空中の生き物, 6日目：地上の生き物・人間
- ・ 7日目に安息なさった
 - 「神はすべての創造の仕事を離れ、安息なさ」り、この日を「祝福し、聖別された」

創造の秩序①

- ・ 被造物は「**完成形**」で創造された
 - 「良しとされた」4,10,12,18,21「極めて良かった」31
 - 進化論では「適者生存」により, 単純から複雑に進化した, とされている
 - 遺伝子の数は, 人間もウニも約2万(70%共通)
- ・ 被造物は「それぞれ」=**種類**ごとに造られた
 - すべての生物は「種」を超えられない
 - 遺伝子を組み替えても他の種の生き物にならない

創造の秩序②

- ・ 被造物は完全な**秩序**(バランス)を保っている
 - 地球と太陽・月の距離(引力の不思議)
 - 大気:酸素(動物)と二酸化炭素(植物)の関係
 - 温度:20世紀の間に $0.6 \pm 0.2^{\circ}\text{C}$ 上昇
- ・ **食物連鎖**
 - すべての生物は互いを養分として生存する
 - 「食べられる」ことを前提として存在している
 - 「適者生存」によって進化するならば、すべての生物は「食べられない」ように進化するはず？

創造の秩序③

- ・ すべての物には**調和**と**美しさ**がある
 - 絶妙な色・形・バランス
- ・ 被造物には「**無駄**」(遊び)がある
 - 植物25万種, 昆虫75万種, 魚19万種...
 - 人間の脳細胞:使っているのは10%以下!
- ・ 万物は神に**祝福**されている
 - 「神は彼らを祝福して言われた」22,28
 - 人間はただ存在するだけではなく, 祝福(繁栄)されることを願う

進化論(唯物論)の問題

- ・ 進化論よりも**唯物論**が恐ろしい
 - 唯物論: 存在の全ては偶然であり、「**突然変異の塊**」に過ぎない
 - 創造論: 存在の全ては**神の知恵**により、目的を持って創造された
- ・ すべてが「物」であるならば,
 - ただ思うがままに生き、何をしてるかまわらない
 - この世界を維持していく目的は?
 - 「生命の尊厳」など何の意味もない!

創造の秩序④

- ・ 2:2-3「第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なされた。この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なされたので、第七の日を神は祝福し、聖別された。」
- ・ 神は、一瞬で天地を創造することができたのに、6日かけて創造し、7日目に休まれた
- ・ 人間に、安息(休み)を与え、創造主を覚える日を定められた
- ・ 1/7というサイクルは祝福の源である